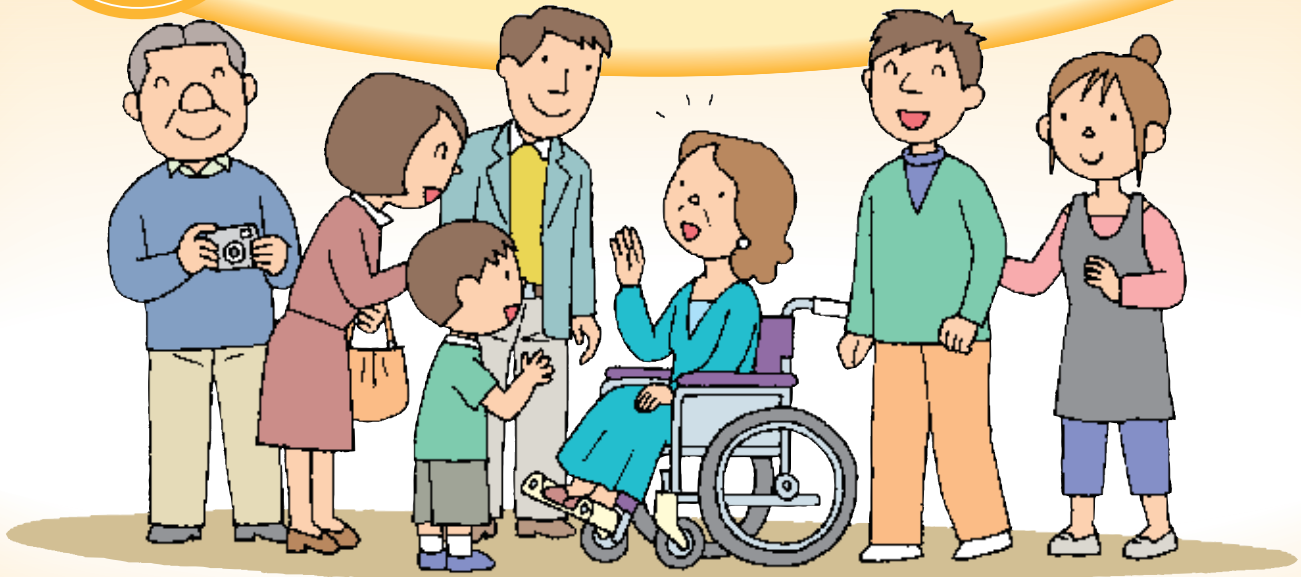


いつまでも住み慣れた夕張で自分らしく暮らし続けるために

夕張市認知症ガイドブック

認知症とは？

認知症とは、脳に起きた何らかの障がいにより、これまで培ってきた記憶や思考などの能力が徐々に低下し、日常生活に支障をきたす状態です。



認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です

高齢化により認知症の人は今後さらに増加すると見込まれています。
認知症に対する理解を深め、認知症の人と家族が安心して暮らせる地域をつくるのが大切です。

古い認知症観を、「新しい認知症観」に転換を！

古い認知症観

(他人ごと、問題重視、疎外、絶望)

- ① 他人ごと、目をそらす、先送り
- ② 認知症だと何もわからない、できなくなる
- ③ 本人は話せない・声を聞かない
- ④ おかしな言動で周りが困る
- ⑤ 危険重視
- ⑥ 周囲が決める
- ⑦ 本人は支援される一方
- ⑧ 認知症は恥ずかしい、隠す
- ⑨ 地域で暮らすのは無理
- ⑩ 暗い、萎縮、あきらめ、絶望的

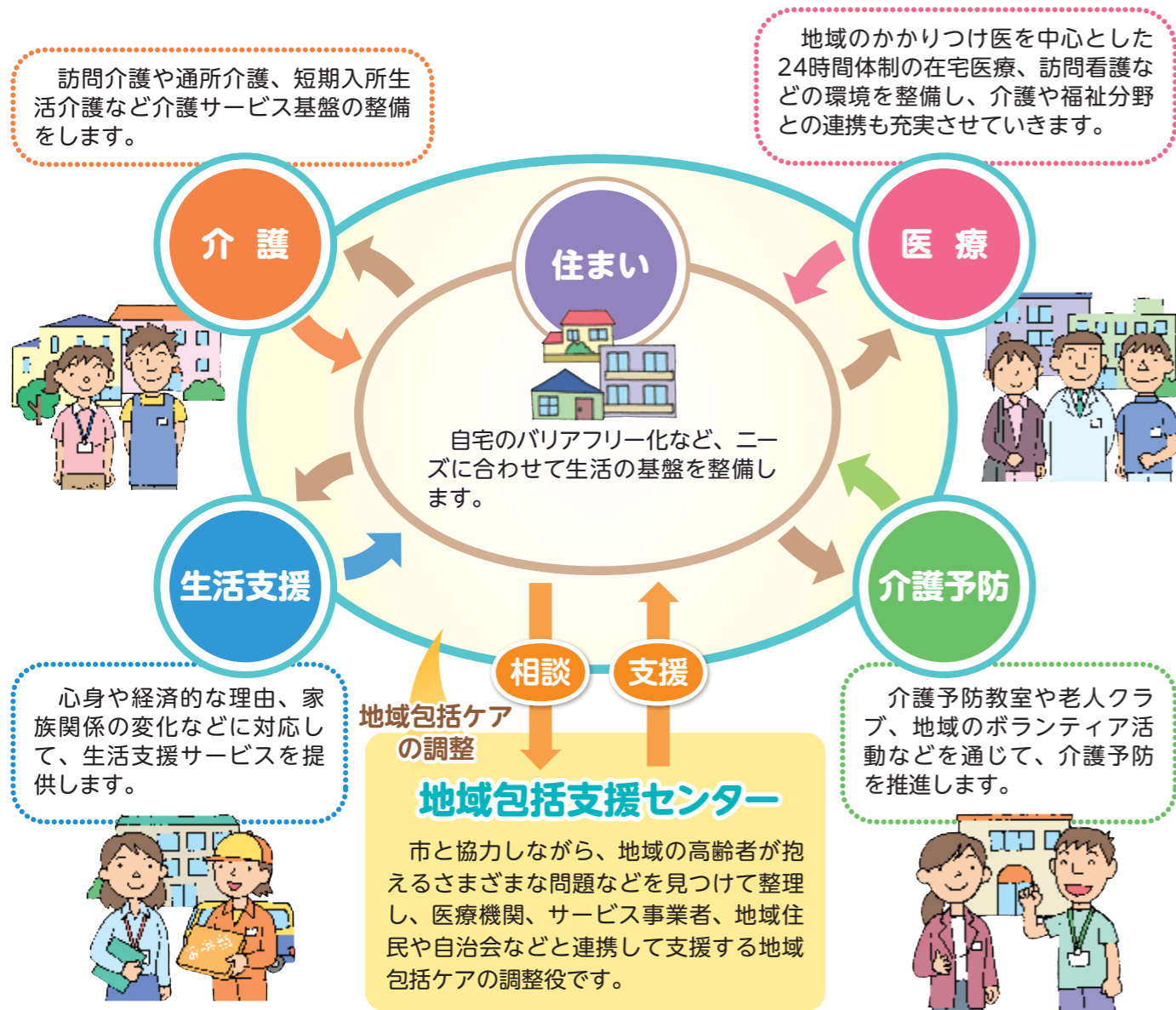
新しい認知症観

(わがこと、可能性重視、ともに、希望)

- ① わがこと、向き合う、備える
- ② わかること、できることが豊富にある
- ③ 本人は声を出せる・声を聞く
- ④ 本人が一番困っている。本人なりの意味がある。
- ⑤ あたりまえのこと(人権)重視。自由と安全のバランス
- ⑥ 本人が決める(決められるように支援)
- ⑦ 本人は支え手でもある。支え。支えられる
- ⑧ 認知症でも自分は自分、オープンに
- ⑨ 地域の一員として暮らし、活躍
- ⑩ 楽しい、のびのび、あきらめず、希望を

住み慣れた地域での暮らしを支える「地域包括ケア」

地域包括ケアシステム（地域包括ケア）は、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくことができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するシステムです。必要とされるサービスを切れ目なく提供していくことで、地域に住む高齢者の生活を支えます。おおむね30分以内にサービスが提供できる日常生活圏を想定しています。



地域包括ケアに必要な 地域包括ケアでは、市などからの公的なサービスや支援の「共助」と「公助」だけではなく、自分の力で問題を解決する「自助」や、住民が互いに助け合う「互助」による支えがとても大切になります。

4つの「助」

自助

住み慣れた地域で生活するために、自分でさまざまなサービスを利用し、問題を自力で解決することです。

互助

地域住民やボランティア、家族や知り合いなどが、自発的に助け合うことです。

共助

介護保険や医療保険などの社会保険によるサービスのことです。

公助

税金をもとにした生活保護や権利擁護など、市が行う社会福祉サービスのことです。



認知症に早く気づくことが大切です

- ① 治る病気や一時的な症状の場合があります
- ② 進行を遅らせることが可能な場合があります
- ③ 今後の生活を準備することができます

認知症の始まりによく見られる症状

もの忘れがひどい

- 同じことを何度も言う、問う、する
- しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探している
- 財布・通帳・衣類などが盗まれたと人を疑う

判断力・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない

時間・場所が分からない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周囲への気遣いがなくなり、頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする

不安感が強い

- 一人になると怖がったり寂しがったりする
- 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった

主な認知症のタイプ別特徴

アルツハイマー型認知症



記憶障害が著しく、最近の記憶（短期記憶）が不得意になるのが特徴です。一番多いタイプの認知症です。

【症状の例】

- ・少し前のできごとを忘れる
- ・同じことを何度も聞く
- ・日にちがわからなくなる

脳血管性認知症



記憶に問題があっても、理解力や判断力がある程度保たれているのが特徴です。（まだら認知症）

【症状の例】

- ・意欲の低下
- ・手足に麻痺がある
- ・言葉が出てこない

レビー小体型認知症

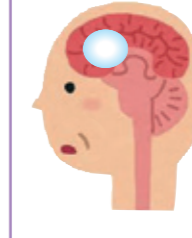


物忘れは比較的軽いですが、うつ状態や意識障害などの症状や、幻視（目の前に無いはずの見える）が見られることが特徴です。

【症状の例】

- ・いないはずの人や虫が見えると言う
- ・夜中に寝ぼけて大声を出す

前頭側頭型認知症（前頭側頭葉変性症）



意欲や理性、感情をコントロールすることが難しくなります。自己中心的な性格に変わり、反社会的・反道徳的な行動をとるのが特徴です。

【症状の例】

- ・店の商品を勝手に持ってきてしまう
- ・同じ時間に同じ行動をとる

※この他にも、正常圧水頭症、甲状腺機能低下症、慢性硬膜下血腫などの病気によっても認知症のような症状が出る場合があります。これらは適切な治療（手術や服薬など）によって症状を改善することが可能です。

認知症の早期発見・早期受診

認知症は、脳の細胞が様々な原因で減少したり、働きが悪くなったりすることによって、記憶や判断力の障害などが起こる進行性の病気です。気づかないまま放置すると、どんどん症状が悪化してしまいます。

現在、認知症を完治させる薬や治療法はありません。

しかし、生活習慣病と同じように早期に発見し適切な治療・ケアを行うことで、病気の進行を遅らせることが可能です。

認知症を疑うような行動や体調の変化に気づいたら、「気のせいかな」「年だから仕方がない」と自分で判断せず、早めに専門医療機関への受診をお勧めします。

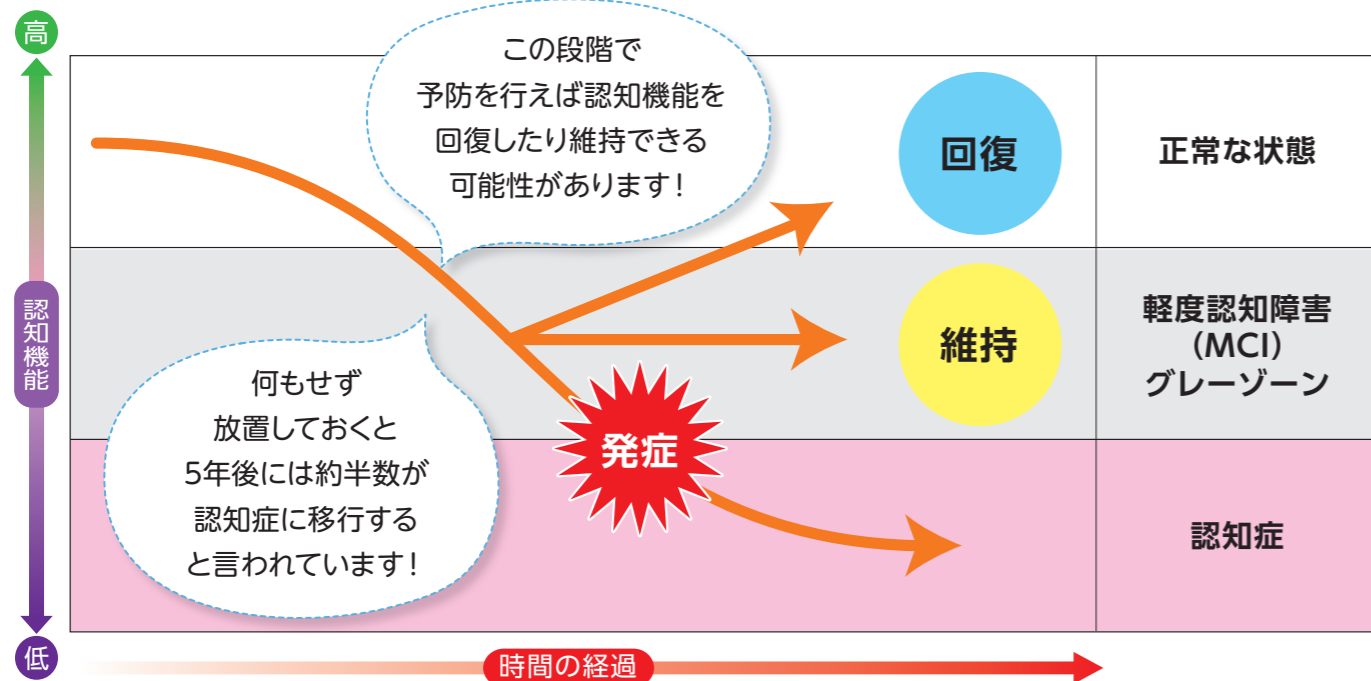
軽度認知障害(MCI)の発見と対処が重要です

認知症はいきなり発症するわけではなく、一歩手前のグレーゾーンがあります。その段階のことを「軽度認知障害(MCI)」といい、物忘れはあるものの日常生活には支障がほぼないのが特徴です。また、物忘れ以外にもなんとなく元気がなく、意欲が低下する様子が見られることもあります。

軽度認知障害(MCI)は、「正常ではないけど認知症でもない状態」で「数年後に認知症に移行する可能性がある状態」を指します。近年、この段階で発見して認知症予防を行えば、認知機能を回復したり現状維持することが可能なことが分かってきました。



認知機能低下のイメージ



認知症の相談窓口

～様々な機関、専門職が認知症の相談、支援を行っています～



認知症の早期発見・早期受診

早期受診はメリットが大きい

- 発症の原因によっては、早い段階で治療を始めれば回復が期待できる場合もあります。
- 早期の対応で、その後の症状の緩和や進行の遅延が期待できます。
- 今後の生活の備えや、もしもの時の話し合いを余裕をもって進められます。

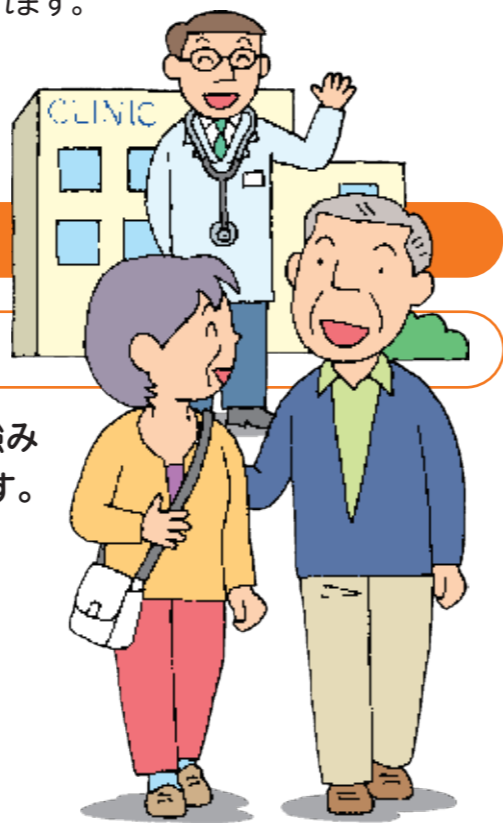
受診のコツを知っておこう

コツ①まずかかりつけ医に相談

かかりつけ医には、本人や家族を日頃から知っている強みがあります。必要に応じて専門医療機関を紹介してくれます。

本人と家族に心強い、かかりつけ医

- 早期段階での発見や気づき
- 専門医療機関の受診の勧め、紹介
- 日常的な身体疾患の治療や健康管理
- 本人や家族の不安の理解、アドバイス
- 地域の認知症介護サービス機関との連携 など

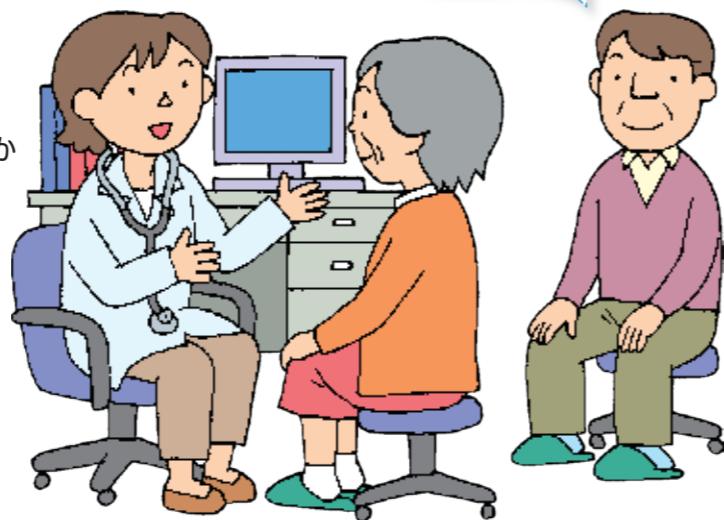


コツ②気になることをまとめておく

診断に欠かせないのが、本人や家族からの情報です。本人の話はもちろん、家族からの視点、それぞれの話の食い違いなども重要な手がかりになります。医師に伝えたい内容をまとめておくとスムーズです。

事前に整理しておくポイント

- 性格や習慣などにどんな変化がいつ頃から現れたか
- 具体的に困っている症状は何か
- 日や時間帯によって変化があるか
- 既往歴(高血圧や糖尿病など)があるか
- 飲んでいる薬とその服用期間 など



本人のことをよく知る身近な人の付き添いは重要なポイントです

コツ③受診へのためらいを上手にとる

本人も納得して受診することがベストですが、ためらいがある場合や、自覚がない場合は、表現を工夫してみましょう。

本人に自覚があるなら



早く発見できたら治るかもしれないし進行も遅らせられます

何かの病気かもしれないから検査してみましょう

ずっと元気でいてほしいから受診してください



本人に自覚がないなら



私の健康診断に付き合ってください

一緒に健康チェックに行きましょう

検診の案内が来ているので受けに行きましょう



本人が受診を拒んだときは

認知症は、新しく体験したことを忘れてしまう症状があります。それゆえ、物忘れをしていること自体を自覚していません。家族や周囲の人が「(物忘れが心配だから)病院に行きましょう」と勧めても、「自分はおかしくないから病院に行く必要はない」と頑なに拒むことがあります。

自分ではおかしいと思っていないのに周囲から何度も受診を勧められたり、強引に病院に連れて行かれそうになれば、プライドを傷つけられ、不信感をあおることになり、さらに受診が困難になります。

どうしても受診してくれない時は、本人が一番信頼している人や同居以外の家族、かかりつけ医から勧めてもらったり、家族だけで専門医療機関の外来を訪れて相談する方法もあります。



認知症の人との上手な接し方

「ケア(介護)する」視点が大切です



家族が認知症を理解していないと、「何度言えばわかるの!」「どうしてそんなことをするの!」などと叱り、認知症の人の気持ちを傷つけてしまうことがあります。叱るだけでは家族のストレスはたまり、症状も悪化させる悪循環におちいります。認知症の本人の気持ちや症状に合わせたケア(介護)の視点が大切です。介護関係者などの支援を受け、心に余裕をもって接しましょう。

認知症の人の気持ち

たとえ病気の自覚がなくても、認知症の人の多くは「自分に何か異変が起きている」と気づいており、次のような思いを抱えています。きつい言葉や対応はひかえましょう。

不安な気持ち

「自分に何が起きているのか」
「この先どうなるのか」

悔しい気持ち

「何でこれができないのか」
「みんなからバカにされる」

申し訳ない気持ち

「家族に迷惑をかけている」
「もっと役に立ちたい」

認知症の人との接し方ポイント

こんな接し方をしましょう

- できないことを責めるのではなく、できることをほめましょう。
- なるべくポジティブ(前向き・積極的)になれる声かけをたくさんしましょう。
- 笑顔で接し、お互いに気持ちよくなることを増やしましょう。
- ささいなことでも家庭や社会での役割を担ってもらいましょう。



- 失敗を避けるためにやせないのではなく、失敗ないように手助けをしましょう。
- 本人の希望や意思、ペース、長年の習慣などを尊重しましょう。

こんな接し方はやめましょう

- 叱りつける ● 命令する ● 強制する
- 子ども扱いする ● 急がせる ● 否定する
- 役割を取り上げる ● 何もさせない など



介護をする方(ケアラー)※が健康でいることも大切です

認知症の人の介護に対して、不安やストレスを感じることもあると思います。誰かに相談することや、気持ちを聞いてもらうことは不安やストレスを軽減させる効果があります。身近な人に相談することがためられる場合は、電話相談などのサービスを活用することもできます。介護サービス等を上手に活用し、ご自身の時間や休息を取り、ご自身の健康状態にも気を配りましょう。もしも、不眠や食欲不振など体調不良が続く場合には、早めに医療機関を受診してください。介護をする方(ケアラー)が健康でいるからこそ、余裕を持った対応ができるのではないのでしょうか。

※ケアラーとは、こころやからだに不調のある家族の「介護」「看護」「療育」「世話」「気づかい」などをする人のことです。

認知症の発症や進行を遅らせるライフスタイル

認知症になっても、進行を遅らせることが可能です

生活習慣病を予防・改善することは、脳の血管が傷つくのを防ぐことにつながり、認知症の原因であるアルツハイマー病や脳血管障害を防ぐことにも効果的であることが分かっています。また、活動的な生活を心がけて脳に刺激を与えることも大切です。

■ バランスよく食べましょう

塩分や脂質のとりすぎに注意して、肉や魚、野菜などバランスのとれた食事を心がけましょう。また、栄養不足は老化を進めてしまいます。

食べすぎは禁物ですが、栄養不足にも注意しましょう。



■ 体を動かす習慣をつけましょう

運動習慣は何もスポーツジムに通ったりしなくても、つけられます。きちんと普通の「家事」をこなすことでも、運動効果は期待できます。

買い物は徒歩で行く、ごみを分別して決まった日に出す、こまめに部屋の掃除をする、洗濯をして干す、庭木の手入れを怠らないといった日常生活で欠かせない家事を丁寧に行いましょう。自然と体は鍛えられ、気分も活動的になります。



■ 脳を活発に使う生活をしましょう

脳も筋肉などと同じように、使えば使うほど鍛えられて活性化します。本や新聞などを読む、日記をつける、旅行の計画を立てるなど、頭を使って脳に刺激を与える生活を心がけましょう。

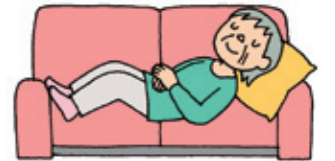
地域活動へ参加して人との交流を続けることや、趣味に打ち込むことも大切です。



■ 休養も大切です

体だけでなく、脳の休養も大切です。1日30分程度の昼寝はアルツハイマー病の予防に効果的です。

長時間の昼寝は逆効果なので注意!



■ 禁煙を心がけましょう

たばこは動脈硬化を進め脳血管障害を引き起こすほか、アルツハイマー病の原因にもなることが分かっています。

そのほか、喫煙を続けることで肺がんや呼吸器疾患、歯周病などの健康リスクが増えてしまいます。



■ 歯みがき・口の中のケア

歯みがきや、入れ歯の手入れをしっかりと、健康な歯を保つことは認知症予防にもつながります。

よく噛んで食べることは脳に刺激を与えるうえに、血糖値の上昇が抑えられて生活習慣病予防にも!



■ 寝たきりにならないための転倒防止

転倒による骨折から寝たきりになり、生活が不活発になることで認知症を招いてしまうことがあります。

転びにくい服選びや家の中の段差の解消など転倒防止を心がけましょう。また乳製品などカルシウム豊富な食品をとり、骨折しづらい体づくりを心がけることも大切です。



認知症ケアパスの概要図

～予防から認知症の進行に合わせ、段階に合わせて対応します～

認知症の進行	正常なレベル～ 軽度認知障害 (MCI)	認知症の進行(右に行 くほど発症から時間が経過し、進行している状態)				
		認知症の疑い	日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・ 介助が必要	常に介護が必要
症状	<ul style="list-style-type: none"> ●物の忘れが多くなるが、日常生活に支障をきたしていない <p>もの忘れについて不安を感じている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●同じ物を買ってくる ●料理や片付け、計算などミスが目立つ ●重要な約束や予定を忘れる ●薬の飲み忘れがある <p>自分の能力低下を感じて不安を感じたり、イライラしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●季節に合った服が着られない ●電話や訪問者の対応が難しくなる ●使い慣れた道具の使い方が分からなくなる ●着替えや入浴を嫌がる ●徘徊が見られるようになる ●トイレの失敗を隠すことがある <p>一人で何かをすることに不安をもち、家に引きこもりがちになったり、常に家族と一緒にいたいと望んだり、怒りっぽくなることもある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●トイレの失敗が多くなる ●家族の顔や名前がわからなくなる ●話さなくなる ●運動機能が低下し、歩いたり、食べたりするのが困難になる <p>自分の要求を上手に表現できなくなったり、生活上できないことが多くなったりする。</p>		
生活上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○地域行事やボランティアなど社会参加を行う ○趣味やレクリエーションを楽しむ ○家庭内で役割を持つ ○いつもと違う、様子がおかしいと思ったら早めにかかりつけ医や地域包括支援センターに相談する <p>市内で行われている介護予防教室に参加するのも良いでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家族が認知症を正しく理解し、接し方の基本的なコツを理解する ○家族間で介護のことについて話し合っておく ○介護で困ったことがあれば抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談する <p>かかりつけ医や専門医の受診を継続しましょう。薬をきちんと内服できるような見守りや声かけも大切です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家族、介護者の健康管理を行う ○介護の負担が増えるため、こまったことがあれば抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談し、介護サービスを上手に利用する <p>お金の管理方法や徘徊への備えなど、本人が安全に生活できるように相談し、考えておきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家族、介護者は日常生活でできないこと(食事、排泄など)が増え合併症を起こしやすくなることを理解しておく ○どのような最期を迎えるか家族間で話し合っておく <p>ご本人、ご家族にとって生活しやすい環境、住まい、介護サービスを選択し、安心して生活できるようにしましょう。</p>		



夕張市 認知症ケアパス

～認知症ケアパスは、認知症状の進行に合わせて、どこでどのようなサービスを利用できるかが書かれたものです～

	正常なレベル 軽度認知障害 (MCI)	認知症の疑い	見守りがあれば生活できる	日常生活に手助けが必要	常に介護が必要
		<ul style="list-style-type: none"> 同じことを繰り返し聞く 物が無くなる 外出がおっくうになる 	<ul style="list-style-type: none"> お金の管理や支払いが難しくなる 薬を間違えて飲む 火を消し忘れる 季節に合った服が選べない 生活のリズムが崩れる 	手助けがないと食事や、トイレ等がうまくできない	<ul style="list-style-type: none"> 質問に答えられない 自分で食事ができなくなる 寝たきりになる
相談	地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	夕張市地域包括支援センター（認知症地域支援推進員・認知症初期集中支援チーム） ・夕張ケアプラン相談センター ・社協指定居宅介護支援事業所あさか ・清光園居宅介護支援事業所 ・SOMPOケア 夕張 居宅介護支援事業所 ・居宅介護支援事業所 夕明かり			
	こころの健康相談 岩見沢保健所				
予防	役割 ・夕張市シルバー人材センター ・夕張市ボランティアセンター(夕張市社会福祉協議会内) 介護予防 ・夕張市介護予防事業 交流 ・夕張市老人福祉会館 ・夕張市老人クラブ連合会				
見守り	見守り ・地域住民 ・民生委員 ・町内会 ・兄弟親戚 ・SOS ネットワーク ・緊急通報 システム ・地区社協配食 ・見守り協定 (コープさっぽろ、北海道新聞販売所、セブンイレブン、郵便局)				
権利を守る	日常生活自立支援事業 ・夕張市社会福祉協議会 ・夕張市地域包括支援センター 成年後見制度 ・弁護士相談 ・行政書士相談 ・司法書士相談 ・夕張市地域包括支援センター				
生活支援	配食サービス ・さぼーとセンターシューパロ ・地区協在宅福祉推進委員会 (南清水沢、南部) 移送サービス ・夕張市社会福祉協議会 ・特別養護老人ホーム清光園 訪問介護 ・SOMPO ケア 夕張 訪問介護 ・ヘルパーステーション よりそい 訪問入浴 ・アースサポート岩見沢 ・三井ヘルスサービス株式会社 デイサービス ・デイサービスセンターすずらん ・デイサービス センターレインボーヒルズ ・ゆうばりデイサービスセンターふるさと ・共用型デイサービスまどか ・グループホームわかかなデイサービス ・地域密着 型デイサービスあずましい デイケア ・介護老人保健施設虹ヶ丘 訪問リハビリ 夕張市立診療所訪問リハビリテーション 短期入所 ・特別養護老人ホーム清光園 ・介護老人保健施設虹ヶ丘 ・介護医療院夕張 福祉用具・住宅改修 夕張市地域包括支援センター及び各居宅介護支援事業所				
住まい	サービス付高齢者向け住宅 シルバー共同住宅陽光 養護老人ホーム 養護老人ホーム夕張紅葉園 軽費老人ホーム ケアハウスレインボーヒルズ 特別養護老人ホーム 特別養護老人ホーム清光園 グループホーム ・GH まどか ・GH 紅葉の里 ・GH わかな ・GH 夕張汽笛が聞こえる 介護老人保健施設 ・介護老人保健施設虹ヶ丘 介護医療院 ・介護医療院夕張				
医療	認知症疾患医療センター 江別すずらん病院等 訪問看護 ・夕張訪問看護ステーション ・夕張市立診療所 訪問診療 各診療所 訪問歯科診療 各歯科診療所 訪問薬剤師 各薬局 かかりつけ医 各主治医				



目的別支援内容

【認知症・介護の総合相談】

令和5年11月現在

夕張市地域包括支援センター 夕張市役所内 保健福祉課 包括支援係 0123-52-3107

介護の相談

名称・事業所名	住所、実施主体	電話番号
夕張ケアプラン相談センター	夕張市本町4丁目2番地(夕張市役所3階)	0123-57-7585
社協指定居宅介護支援事業所 あさか	夕張市若菜3番地 社会福祉協議会内	0123-56-6004
清光園居宅介護支援事業所	夕張市南清水沢1丁目55番地(清光園内)	0123-59-2500
SOMPO ケア 夕張 居宅介護支援事業所	夕張市沼ノ沢38番地	0123-53-7732
居宅介護支援事業所 夕明かり	夕張市鹿の谷3丁目118番2	0123-57-7003

心の相談

名称・事業所名	住所	電話番号
岩見沢保健所	岩見沢市8条西5丁目	0126-20-0122

介護予防・認知症予防

名称・事業所名	住所、実施主体	電話番号
夕張市シルバー人材センター	夕張市南清水沢1丁目123番地	0123-59-7722
夕張市ボランティアセンター	夕張市若菜3番地 社会福祉協議会内	0123-56-6004(社協)*
夕張市老人クラブ連合会	夕張市若菜3番地 老人福祉会館	0123-56-6777
夕張市老人福祉会館	夕張市若菜3番地 老人福祉会館	0123-56-6777
夕張市介護予防事業	市役所 保健福祉課 包括支援係	0123-52-3107

* 社協とは、社会福祉協議会の略

見守り

名称・事業所名	住所、実施主体	電話番号
兄弟・親戚		
町内会・近隣住民		
民生委員	(事務局) 老人福祉会館 (問い合わせ先) 夕張市役所 生活福祉課 生活保護係	0123-56-6777 0123-52-3177
コープさっぽろ見守り協定		0123-52-3107
夕張市内道新販売所との高齢者見守り協定	(問い合わせ先)	0123-52-3107
セブンイレブン見守り協定	夕張市役所内 保健福祉課 包括支援係	0123-52-3107
市内郵便局との高齢者見守り協定		0123-52-3107
配食見守りサービス(南清水沢、南部)	夕張市社会福祉協議会	0123-56-6004
SOS ネットワーク	夕張市役所 保健福祉課 包括支援係	0123-52-3107
緊急通報システム	夕張市役所 生活福祉課 生活福祉係	0123-52-1059

財産・権利を守る

名称・事業所名	住所、実施主体	電話番号
無料法律相談(弁護士相談)	夕張市役所 市民課 市民係(要予約)	0123-52-3104
くらしとお金の無料相談 (ファイナンシャルプランナー相談)	夕張市役所 税務課 収納係(要予約)	0123-52-3129
夕張市社会福祉協議会	夕張市若菜3番地	0123-56-6004

生活支援

名称・事業所名	住所	電話番号
さぼーとセンター シューパロ	夕張市平和1番地44	0123-53-3377
SOMPO ケア 夕張 訪問介護	夕張市沼ノ沢38番地	0123-53-7730
ヘルパーステーション よりそい	夕張市鹿の谷3丁目118番2	0123-57-7002
デイサービスセンターすずらん	夕張市南清水沢1丁目124番地	0123-59-6400
デイサービスセンターレインボーヒルズ	夕張市日吉16番地4	0123-56-6666
ゆうぱりデイサービスセンターふるさと	夕張市紅葉山231番地70	0123-53-8311
共用型デイサービスまどか	夕張市清水沢宮前町22番地	0123-59-2525
グループホームわかなデイサービス	夕張市若菜8番地25	0123-57-7337
地域密着型デイサービス あずましい	夕張市鹿の谷3丁目118番2	0123-57-7066
清光園短期入所事業所	夕張市南清水沢1丁目55番地1	0123-59-6213
介護老人保健施設 虹ヶ丘	夕張市日吉14番地6	0123-53-3131
介護医療院夕張	夕張市若菜8番地	0123-57-7782
アースサポート岩見沢	岩見沢市北3条西11丁目1番32	0126-20-0811
三井ヘルスサービス株式会社	札幌市豊平区平岸2条3丁目6-13	011-814-4016
夕張市社会福祉協議会	夕張市若菜3番地 老人福祉会館内	0123-56-6004
特別養護老人ホーム清光園	夕張市南清水沢1丁目55番地1	0123-59-6213
福祉用具貸与・購入	介護の相談参照(14ページ)	—

住まい

名称・事業所名	住所、実施主体	電話番号
シルバー共同住宅 陽光	夕張市南清水沢1丁目55番地1 (連絡先 清光園)	0123-59-6213
ケアハウス レインボーヒルズ	夕張市日吉16番地4	0123-56-6666
養護老人ホーム 夕張紅葉園	夕張市紅葉山178番地	0123-58-2330
介護老人保健施設 虹ヶ丘	夕張市日吉14番地6	0123-53-3131
介護医療院夕張	夕張市若菜8番地	0123-57-7782
グループホームまどか	夕張市清水沢宮前町22番地	0123-59-2525
グループホーム 紅葉の里	夕張市紅葉山235番地11	0123-58-3111
グループホームわかな	夕張市若菜8番地25	0123-57-7337
グループホーム 夕張汽笛が聞こえる	夕張市本町4丁目45番地	0123-53-2688
特別養護老人ホーム清光園	夕張市南清水沢1丁目55番地1	0123-59-6213

医療

名称・事業所名	住所	電話番号
社会医療法人豊生会 夕張市立診療所	夕張市若菜8番地	0123-57-7781
医) 友綾会南清水沢診療所	夕張市南清水沢4丁目8番地6	0123-59-7085
医) 社団中條医院	夕張市紅葉山526番地40	0123-58-2350
夕張市立診療所訪問リハビリテーション	夕張市若菜8番地	0123-57-7781
夕張訪問看護ステーション	夕張市本町4丁目2番地(夕張市役所3階)	0123-57-7536
夕張市立診療所訪問看護	夕張市若菜8番地	0123-57-7781
江別すずらん病院 認知症疾患医療センター	江別市上江別442番地15	011-384-2100
砂川市立病院 認知症疾患医療センター	砂川市西4条北3丁目1番1号	0125-54-2131

名称・事業所名	住所	電話番号
社会医療法人豊生会 夕張市立診療所	夕張市若菜 8 番地	0123-57-7781
木村歯科診療所	夕張市本町 3 丁目 63 番地	0123-52-2001
ひうら歯科クリニック	夕張市若菜 11 番地 29	0123-56-5656
清水沢歯科医院	夕張市清水沢 3 丁目 3 番地	0123-59-7519
やなづめファミリー歯科	夕張市南清水沢 3 丁目 27 番地 1	0123-59-3803

薬局

名称・事業所名	住所	電話番号
アイン薬局夕張市立診療所店	夕張市若菜 8 番地 1	0123-57-7601
こすげ薬局	夕張市若菜 8 番地	0123-56-5192
ミラクル薬局南清水沢店	夕張市南清水沢 4 丁目 8 番地 2	0123-59-4088
杉山薬局	夕張市紅葉山 526 番地 19 (JA 夕張市メロード内)	0123-58-2032

認知症についての相談は

認知症やその介護についての悩みや不安がある場合は、本人や家族だけで抱え込まず、かかりつけ医をはじめ、市の担当窓口、専門機関などに早めに相談しましょう。

夕張市地域包括支援センター 夕張市役所 保健福祉課 包括支援係 ☎0123-52-3107

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、さまざまな支援を行う総合相談機関です。主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士といった専門スタッフが、介護や介護予防の相談をはじめとして、医療や福祉サービスを利用するための連絡や調整、虐待防止や権利擁護の支援まで、高齢者とその家族のあらゆる相談にのる最も身近な相談拠点です。

認知症サポーターとは

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者のことです。

認知症サポーターになるには

「認知症サポーター養成講座」(60～90分)を受講すれば、どなたでもなることができます。自治会、ボランティア団体、サークル、お友達同士、職場、小・中学校など5名以上集まる場があれば、講座を開催できます。開催日時等のご相談は、地域包括支援センターにお問合せください。

